

令和5年度事業の実績報告

学園寄附行為第34条第2項に基づき令和5年度事業の実績について報告する。

(概要)

当学園は、昭和38年3月に設立されたが、平成31年4月1日をもって、学園名を「矢谷学園」から「鳥取学園」に改め、鳥取県東部地域における私立学校の中心的存在として、一層の発展を目指すこととした。(令和5年3月で学園創立60周年)

近年、全国的に人口減少と少子高齢化が進んでいる。

さらに、令和5年度においては、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響もあり、前年度に引き続き光熱費が高騰し、学園経営を圧迫することとなった。

人口減少と少子高齢化の中で、今後とも、当学園にとって、園児や生徒の安定的確保や、経営改善方策の策定等、学園経営の一層の改善努力が求められている。

- (1) 高校では、令和5年4月に卓球場を、6月には鳥取城北高等学校総合グラウンドを整備した。また、令和6年3月には城翔第三寮を新たに整備するなど部活動における環境の改善を図った。

進学面においては、国公立大学合格者延べ数は昨年度39名(国立26名)に対し今年度29名(国立23名)と10名減(国立6名減)、難関私大は延べ11名と8名減となった。昨年度から志学コースが2クラスに減ったこと、全体的な学力の伸長が達成できなかったことが主な原因と思われる。進学状況の改善が急務となっている。また、令和6年度の入学者数は、東部中学生の生徒数の減少や、中学校による部活動勧誘の制限などの影響をうけ令和5年度と比較して33名減少し、全校生徒数は1,208名となった。

- (2) 幼稚園では近年園児の減少傾向が続いており、赤字状態が続くなど危機的な状況である。このような中、令和3年度から第三幼稚園園舎の全面改築を行い、令和5年度に幼保連携型認定こども園として再スタートした。第一幼稚園については、令和5年度に実施設計を行い、令和6年度から改築工事に着手し、令和8年度に幼保連携型として開園を目指している。今後の鳥取市内全体の幼児減少などを見極めつつ、老朽化した園舎の環境改善・経営改善の方策確立など、将来を見据えて、鳥取幼稚園のあり方を抜本的に検討することが急務となっている。

(3) 鳥取城北日本語学校では、令和 2 年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大による入国制限等により、学生数が大幅に減少するなど大きな影響を受けた。令和元年度開校以降各年度とも定員 100 名を大幅に下廻る状況が続いており、厳しい赤字経営が続いている。

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、令和 6 年度は 52 名の留学生（ベトナム、モンゴル、ネパール、ミャンマー、スリランカ）を受入れた。今後、留学生の確保とともに、鳥取市などの関係機関の協力を得ながら就職先の開拓に一層力を入れ、経営改善を図っていく必要がある。

(4) 以上のとおり、学園全体として厳しい経営環境と不確実、不透明な諸情勢の中ではあるが、建学の精神に則り、積極的かつ個性的で魅力ある学園運営に努めた。

(学校法人鳥取学園寄附行為)

第 34 条第 2 項 理事長は、毎会計年度終了後 2 カ月以内に、決算及び事業の実績を評議員会に報告し、その意見を求めなければならない。

(学校法人鳥取学園事務決裁規則)

第 3 条 理事会は、学園の業務について、次に掲げる事項を議決する。

(9) 決算の承認

1. 事業実績（学園全体）

(1) 名 称 学校法人 鳥取学園

主たる事務所の住所 鳥取市西品治 848 番地

(2) 法人成立 昭和 38 年 3 月 28 日

(3) 目 的 教育基本法及び学校教育法に従い学校教育を行い豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する有意な人材を育成する。就学前教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、幼児期の教育・保育を行い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。

(4) 設 置 校

区 分	開 校	知事認可日	備 考
鳥取城北高校	昭和 38 年 4 月	昭 38. 3. 12	—
認定こども園 鳥取第一幼稚園	昭和 30 年 6 月 平成 30 年 4 月	昭 30. 6. 7 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型 認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第二幼稚園	昭和 41 年 4 月 平成 26 年 4 月	昭 41. 4. 6 平 26. 3. 31	平成 26 年度おひさま保育園設置 幼保連携型認定こども園に移行

認定こども園 鳥取第三幼稚園	昭和 43 年 4 月 平成 30 年 4 月 令和 5 年 4 月	昭 43. 3. 13 平 30. 4. 1 令 5. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型認定こども園に移行、令和 5 年度から幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第四幼稚園	昭和 53 年 4 月 平成 24 年 4 月	昭 53. 2. 27 平 24. 3. 30	平成 24 年度はつばい保育園設置幼保連携型認定こども園に移行
認定こども園 鳥取第五幼稚園	昭和 55 年 4 月 平成 30 年 4 月	昭 55. 1. 12 平 30. 4. 1	平成 30 年度から幼稚園型認定こども園に移行
鳥取城北日本語学校	平成 31 年 4 月	平 29. 11. 16	令和 2 年以降、毎年、広島出入国在留管理局から適正校として選定

(5) 学生・生徒・園児数の状況 (各年度：5 月 1 日現在) (単位：人)

学校名	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年 4 月 1 日
鳥取城北高等学校	1, 058	1, 129	1, 151	1, 268	1, 239	1, 208
認定こども園 鳥取第一幼稚園	203	169	157	136	132	101
認定こども園 鳥取第二幼稚園	288	275	274	265	263	248
認定こども園 鳥取第三幼稚園	79	88	94	96	118	118
認定こども園 鳥取第四幼稚園	327	295	273	262	237	229
認定こども園 鳥取第五幼稚園	90	81	68	57	49	56
認定こども園 計	987	908	866	816	799	752
鳥取城北日本語学校	17	55	28	29	7	52
合 計	2, 062	2, 092	2, 045	2, 113	2, 045	2, 013

(6) 建学の精神

学校法人鳥取学園は、「社会をつくるのは人であり、人をつくるのは教育である。そして社会の発展の基礎は教育にある」との認識の上に立ち、教育を通して社会に貢献することを使命とする。

特に人間形成の基礎を育む幼稚園教育、人間性の一層の伸長と人格の陶冶を図る高等学校教育を重視し、それぞれの教育目標を具現化するために鳥取幼稚園、鳥取城北高等学校を設置する。

また、地域社会の要請に応えるために鳥取城北日本語学校を設置する。平成 31 年 4 月には、法人名称を矢谷学園から鳥取学園に変更し、法人の一層の発展を目指すこととした。

(7) 学校法人の沿革

昭和

- 24年 10月 財団法人鳥取ドレスメーカー女学院設置
- 30年 4月 鳥取幼稚園開園
- 38年 3月 学校法人矢谷学園 設立認可
理事長 矢谷 允之
- 4月 鳥取城北高等学校開校（普通科・商業科・家庭科）
- 41年 4月 鳥取第二幼稚園 設置認可
- 43年 3月 鳥取第三幼稚園 設置認可
- 4月 鳥取城北高等学校 家庭科を廃止し商業科に商業家庭コースを設ける
- 51年 4月 鳥取城北高等学校 専攻科設置
- 53年 2月 鳥取第四幼稚園 設置認可
- 55年 1月 鳥取第五幼稚園 設置認可
- 63年 11月 鳥取情報処理専門学校 設置認可

平成

- 2年 3月 財団法人鳥取ドレスメーカー女学院解散
- 16年 3月 鳥取城北高等学校 専攻科廃止
- 22年 4月 鳥取情報処理専門学校を専門学校鳥取情報経理学院に名称変更
- 24年 3月 はっぴい保育園 設置認可
- 25年 4月 理事長 山根 昌弘
- 26年 3月 専門学校鳥取情報経理学院 閉校
おひさま保育園 設置認可
- 29年 11月 鳥取城北日本語学校 設置認可
- 30年 3月 鳥取幼稚園の全園が認定こども園化
- 4月 理事長 石浦 外喜義
- 31年 4月 法人名称を鳥取学園に変更
鳥取城北日本語学校 開校

令和

- 3年 3月 鳥取城北高等学校新校舎完成記念式典開催
- 5年 1月 鳥取第三幼稚園園舎完成記念式典開催
- 5年 6月 鳥取城北高等学校総合グラウンド完成記念式典開催

(8) 役員等 (令和6年4月1日現在)

① 理事 (寄附行為第6条第1項第1号 8人以上15人以内)

	職務	氏名	就任年月日	勤務	主な現(元)職
1	理事長	石浦 外喜義	(H24. 5. 30) R6. 4. 1	常勤	鳥取城北高校校長
2	常務理事	林 喜久治	(H26. 9. 25) R4. 4. 1	常勤	元鳥取大学理事・副学長
3	理事	油野 利博	(H30. 7. 27) R3. 7. 30	非常勤	鳥取城北日本語学校校長 鳥取大学名誉教授
4	理事	西村 岩雄	(H30. 4. 1) R6. 4. 1	常勤	鳥取城北高校副校長
5	理事	西本 誠	(R2. 5. 28) R5. 5. 28	常勤	鳥取城北高校教頭
6	理事	田村 雅子	(H30. 5. 31) R6. 5. 31	常勤	認定こども園鳥取第一幼稚園長
7	理事	青木 真奈美	(R2. 4. 1) R5. 4. 1	常勤	認定こども園鳥取第四幼稚園長
8	理事	金井 哲治	(H26. 7. 12) R4. 4. 1	非常勤	元スギホールディングス(株)常勤監査役
9	理事	小林 敬典	R6. 4. 1	非常勤	日本赤十字社鳥取県支部事務局長

注) 就任年月日の()内は、当初の理事就任年月日

② 監事 (寄附行為第6条第1項第2号 2人)

	職務	氏名	就任年月日	勤務	主な現(元)職
1	監事	花房 幸範	(H26. 9. 30) R4. 4. 1	非常勤	アカウンティングワークス(株) 代表取締役(公認会計士)
2	監事	池上 勝治	(H26. 12. 22) R4. 4. 1	非常勤	元智頭急行(株) 代表取締役社長

注) 就任年月日の()内は、当初の監事就任年月日

③ 役員待遇者

	職務	氏名	就任年月日	勤務	主な現(元)職
1	スーパーバイザー	山内 三郎	(H30. 7. 27) R3. 7. 30	非常勤	(株)リテールサポート社長
2	スーパーバイザー	淀川 忠明	R6. 2. 26	非常勤	(公財)日本相撲連盟加盟団体 九州相撲連盟理事長 福岡県相撲連盟理事長
3	スーパーバイザー	角 久仁夫	R6. 4. 23	非常勤	明治大学端艇部前監督 鳥取県ボート協会 特別アド バイザーコーチ
4	アンバサダー	宮城野 翔	(H27. 2. 20) R6. 2. 20	非常勤	第93代横綱

注) 就任年月日の()は当初の就任年月日

④ 理事会の開催状況

	開催日	主な議題等
1	5. 4. 21	理事会が選任する評議員の選任及び理事会が推薦する評議員の推薦、令和4年度実績報告、役員の報酬等に関する規程の一部改正
2	5. 5. 26	R4年度決算及び事業実績並びに監事監査報告、令和5年度5月補正予算、学園評議員(3号:学識経験者)の選任
3	5. 7. 20	三代寺グラウンド整備工事変更契約の締結、城北高校令和6年度納付金の一部値上げ
4	5. 8. 25	令和5年度8月補正予算、高校校舎改築資金収支シミュレーション、鳥取学園経営分析主要指標
5	5. 9. 22	幼稚園の経営改善、特待生のあり方見直しの検討状況、第一幼稚園の長期借入先金融機関、令和6年度城北高スクールバスの運行
6	5. 10. 27	非常勤職員の服務に関する規則の一部改正、鳥取幼稚園納付金の値上げ、一園改築検討状況、令和6年度当初予算編成の基本方針
7	5. 11. 20	令和6年度鳥取学園当初予算編成の基本方針、認定こども園鳥取第一幼稚園運営規程(園則)の一部改正、12月補正予算検討項目一覧、人口の推移と将来推計等
8	5. 12. 14	令和5年度12月補正予算、評議員の選任、令和5年度中間決算、次期中期計画検討項目、一園長期借入資金の借入れ先
9	6. 1. 26	城北高校令和6年度入試出願・合格・入学手続状況、一園実施設計の概要、城翔第三寮の購入契約の締結、令6.4.1付け学園教職員の給与改定
10	6. 2. 16	理事の再任、理事長の再任、理事の選任、アンバサダー等の再任、令6.4.1基幹人事、令和6年度各所属運営方針
11	6. 3. 18	令和5年度3月補正予算、令和6年度当初予算主要事業、教職員の服務に関する規則の一部改正、組織運営に関する規則の一部改正、スパーバイザーの再任

⑤ 評議員(寄附行為第19条第2項 令和6年4月1日現在)

	氏名	就任年月日	主な現職	
1号(職員) 理事会推薦 (評議員会選任)	1	西村 岩雄	R4. 4. 1	鳥取城北高校副校長
	2	荒木 健司	R4. 5. 28	鳥取城北高校事務長
	3	西本 誠	(R2. 5. 28) R5. 5. 28	鳥取城北高校教頭
	4	安藤 章夫	R4. 4. 1	鳥取城北高校主幹教諭
	5	寺垣 萌	R3. 5. 31	鳥取城北高校養護教諭
	6	田村 雅子	R3. 5. 31	認定こども園第一幼稚園 園長
	7	花岡 佑子	(R2. 5. 28) R5. 5. 28	認定こども園第三幼稚園 教務主任
	8	川上 ゆかり	R4. 5. 28	認定こども園第四幼稚園 副園長
	9	福田 秀一郎	R4. 5. 28	鳥取城北日本語学校教諭
	10	山根 亮文	R4. 4. 1	鳥取城北高校教諭
2号(卒業生) (理事会選任)	11	谷口 洋一	R4. 4. 1	株式会社谷口工務店代表取締役
	12	佐々木 重行	R4. 4. 1	
	13	砂田 典男	R4. 4. 1	鳥取市議会議員
3号(学識経験者) (理事会選任)	14	岡田 信俊	R3. 6. 29	有限会社オカダ人形 代表取締役社長、鳥取市議会議員
	15	田村 穰	R5. 12. 14	公財)海外子女教育振興財団
	16	近藤 剛	R4. 8. 1	鳥取短期大学教授
	17	平井 明博	R5. 5. 26	鳥取城北高校PTA会長
	18	尾坂 亮	R5. 5. 26	認定こども園 第一幼稚園 PTA 会長
	19	磯江 紹元	R4. 5. 28	認定こども園 第二幼稚園 PTA 会長
	20	奥田 信行	R4. 5. 28	認定こども園 第三幼稚園 PTA 会長
	21	岸本 佳代子	R4. 5. 28	認定こども園 第四幼稚園 PTA 会長
	22	宮谷 健人	R5. 5. 26	認定こども園 第五幼稚園 PTA 会長
	23	石橋 潤	R6. 4. 1	株式会社山陰合同銀行

⑥ 評議員会の開催状況

	開催日	主な議題等
1	5. 5. 26	令和4年度決算及び事業実績並びに監事監査報告、令和5年度5月補正予算、学園評議員(職員)の選任
2	5. 8. 25	令和5年度8月補正予算
3	5. 12. 14	令和5年度12月補正予算
4	6. 3. 18	令和5年度3月補正予算、令和6年度当初予算主要事業

(9) 学園全体の取り組み

① 学園名の変更

当学園の前身である財団法人鳥取ドレスメーカー女学院が、昭和24年10月に設立されてから、70周年の節目を迎える平成31年4月1日をもって、学園名称を「鳥取学園」と改め、今後鳥取県東部地区における私立学校の中心的存在として、一層の発展と飛躍を目指すこととした。

② 組織改正

ア 令和2年12月に、高校校舎改築事業完成を踏まえて、事務局と高校事務室を統合し、名称を「事務局」とするとともに、幼稚園係を設置した。

イ 令和5年4月1日、事務局に秘書・調整担当を設置した。

ウ 令和6年3月1日、事務局に危機管理担当を配置した。

エ 令和6年4月1日、事務局に中高一貫校準備室を配置した。

③ 鳥取学園 心の健康づくり計画

厚生労働省「労働者の心の健康の保持増進のための指針」に従って、学園の心の健康づくり活動の具体的方法を定め、教職員の心の健康づくりと活気ある職場づくりに取り組む。(令和2年1月1日施行)

- ・学園全教職員対象「パワハラ研修会（メンタルヘルス研修会同時開催）」
(令和5年3月8日)

④ 情報公開

- ・広報委員会（平成30.10月設置）の開催
- ・学園通信MIRAIや鳥取学園パンフレットの発行
- ・幼稚園HPのリニューアル

⑤ あいサポート企業（団体）の認定

全ての人々が住みやすい社会の実現を目指す「あいサポート運動」に賛同し、県からあいサポート企業（団体）の認定を受けた。(平成30年10月26日)

⑥ 次世代育成支援対策推進法および女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画

第1期 平成23.4.1～平成28.3.31

第2期 平成28.5.1～令和3.3.31

第3期 令和3.5.1～令和8.4.30

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

第1期 平成30.2.1～令和3.3.31

第2期 令和3.5.1～令和8.4.30

鳥取労働局の指導により、両計画を一体的に策定して1つの計画とした。

計画期間 令和3年5月1日～令和8年4月30日

計画内容

- 目標1 法制度の周知による意識啓発を推進する。
- 目標2 管理職に占める女性教職員と男性教職員の割合を均衡させ、維持する。
- 目標3 有給休暇取得率を向上させ、維持する。

- ⑦ 鳥取県男女共同参画推進企業認定に基づく取組
 (初回認定 平成23年3月1日、更新 平成26年2月28日、
 更新 平成29年3月29日、更新 令和2年3月23日、
 更新 令和4年2月28日)
- ・母性健康管理のための休暇等に関する規程 平成26年10月1日施行
 - ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画が、「女性活躍推進企業データベース」に登録された。(令和2年8月25日)

【自主宣言】

- ①学園の教職員が仕事と家庭の両立をしながら働き続けられるような職場環境の充実を図り、女性の働きやすい職場を目指します。
- ②家庭と仕事の両立をしながら働き続けられるようサポートします。
教職員の積極的な研修の参加などキャリアアップを支援し、女性の働き続けられるような環境の整備。
- ③女性の就業継続のため、育児・介護休業に関する規程等の周知を改めて行う。

【行動計画】

女性の管理的地位に占める女性の割合について現状維持を目指す
 希望する自主研修等の費用の補助等の実施
 育児・介護休業に関する規程等の周知を行い、取得を促進する

2. 事業実績 (施設別)

(1)鳥取城北高等学校

昭和38年4月の開校から61年経過。質実剛毅の校訓を基底に知・徳・体の調和と統一のとれた教育活動をめざし、生徒・保護者・教職員がともに幸せになれる教育および、ホスピタリティを重視した活動を展開した。

令和5年度においては、新型コロナウイルスが令和5年5月より5類に移行され、通常の学校行事や課外活動が実施されるようになりコロナ以前の学校生活を送ることができるようになり、部活動においては多くの競技が中国大会や全国大会に出場した。特に書道部においては、「第16回書道パフォーマンス甲子園」において、5度目の出場にして悲願の優勝・文部科学大臣賞に輝いた。さらに全国男女バスケットボール部については、中国高校新人大会で男子は初優勝、女子は2連覇を達成し、アベック優勝は大会初の快挙であった。

生徒募集においては、部活動の勧誘において中学校からの制限が厳しくなり苦戦した。また、県立高校の特色入試の影響と東部の中学生が150人近く減少した影響を受け募集定員400名に達することができなかった。進学においては、大阪大学や九州大学、東京外国語大学、都留文科大学といった難関大学の合格者は出したものの国公立大学合格者総数においては昨年を下回った。

主な項目	概 要				
	学級編成	定員 (人)	生徒数 令和 5. 4. 1		(参考 令和 6. 4. 1)
普通		34cl 1, 241 人		(34cl 1, 208 人)	
教職員数 令和 5. 4. 1 (令和 6. 4. 1)	区分	教員	職員	計	合計
	常勤	86 (91)	15 (16)	101(107)	127 人 (130 人)
	非常勤	12 (11)	14 (12)	26(23)	

学力向上の 取り組み	<p>【全体】 初期指導オリエンテーション、栄光塾・研志塾（無料の校内塾）、GW サポート、総合型選抜・学校推薦型選抜・一般選抜個別指導小論文模試</p> <p>【研志コース】 放課後プラスアルファ（基礎学力定着、英検取得への取り組み） 進路実現 DAY、鳥取大学ツアー</p> <p>【志学コース】 クリアテスト、放課後共通テスト演習、ファイナルチェックテスト、栄光塾合宿、志学受験生合宿、鳥取大学進学合宿、鳥取大学ツアー</p> <p>【スポーツ科学コース】 英検学習、到達度確認テスト（基礎学力定着への取り組み）</p>												
保育体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取幼稚園児とのふれあい学習 ・神戸親和大学 授業体験 ・青少年赤十字出前講座（日本赤十字社） 												
教育相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー派遣委託（一般社団法人 P s y c h o r o） 												
寮の設置運営	<ul style="list-style-type: none"> ・城翔第一寮（H27.3 設置） ・城翔第二寮（R2.5.1 設置） ・城翔第三寮（R6.4.1 設置） ・寮生 213 名 内、男：152 名、女：61 名（令和 5.4.1） 												
学校給食	<ul style="list-style-type: none"> ・183,038 食＝県内産 31.9%（R4 年 183,038 食）（城北横丁） 朝…64,916 食、 昼…55,736 食、 夜…62,386 食 ・一般生徒及び教職員を対象とした昼食提供販売 ・ランチルームにホーム絆を設け、牛丼、カレー、ラーメン、うどん、定食等の販売を NPO 法人フェリースに委託 												
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校での高校説明会（6 月～9 月） 各中学校の卒業生を動画で登場させる取り組み ・オープンスクール（7 月 25 日～27 日） ・体験入部（8 月中旬） ・パンフレット作製（7 月～10 月） ・入試説明会（10 月 26 日） ・JOHOKU Tour 2 0 2 3 開催（10 月 22 日） ・進学相談会（11 月～12 月：全 5 回） ・栄光塾中学生講座（12 月 2 日、3 日） ・Facebook による情報配信 ・ケーブルテレビ「部活動ガンバ！」等番組出演 ・鳥スポニュースでの部活動紹介（7 月、12 月、3 月） ・県政記者クラブへの積極的な資料提供 ・ホームページにオリジナルパノラマを導入（3 月） 												
就職内定率	<table> <tr> <td>30 年度</td> <td>元年度</td> <td>2 年度</td> <td>3 年度</td> <td>4 年度</td> <td>5 年度</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table>	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度								
100%	100%	100%	100%	100%	100%								

進 学 率		30 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
		78.1%	82.9%	79.8%	81.3%	82.7%	85.7%
進 学 状 況		<p>【大学入試合格状況】</p> <p>国公立大学 29 名(前年度 39 名) 大阪大学 1 名、九州大学 1 名、東京外語大学 1 名、広島大学 1 名 都留文科大学 1 名、鳥取大学 11 名、島根大学 2 名、山口大学 1 名 香川大学 2 名、長崎大学 1 名、和歌山大学 1 名、室蘭工業大学 1 名 熊本県立大学 1 名、公立鳥取環境大学 2 名、新見公立大学 2 名</p> <p>私立大学 239 名(前年度 189 名) 同志社大学 1 名、立命館大学 3 名、関西大学 1 名、関西学院大 学 3 名、明治大学 1 名、中央大学 1 名、法政大学 1 名、近畿大学 9 名、甲南 大学 5 名、龍谷大学 10 名、京都産業大学 6 名、東洋大学 1 名 日本大学 6 名</p> <p>看護専門学校 7 名(前年度 6 名)</p>					
学校 評価 (学校運営 の改善)	重点 目標	「教育理念の確実な取り組み」					
	各 項 目 評 価	学力強化	進学指導	就職指導	人権教育		
		B (B)	B (B)	B (A)	A (A)		
		生徒指導	生徒会	ICT 推進	授業向上		
		A (A)	B (B)	B (B)	B (B)		
目標達成度合により A>B>C>D で評価 () は令和 4 年度評価							

校舎改築等整備にかかる長期借入金の状況	校舎改築等整備事業 長期借入金返済状況 1) 借入状況			
	項目	借入日	借入金 (千円)	期間
	校舎改築	R 2.4.30 R 3.4.30	3,050,000	35年
	城翔 第一、二寮	H 27.2.27 R 2.4.30	330,000	30年
	第三寮	R 6.2.29	108,000	20年
	野球場	H27.11.11	156,000	25年
	旧志学校 舎一部解体	R 4.7.29	37,700	10年
	卓球場	R 5.4.21	33,000	10年
	三代寺 グラウンド	R 5.7.31	285,600	25年
	計		4,000,300	
	2) 令和5年度返済 返済額 146,245,471 円 県補助金 20,724,737 円 自己資金 125,520,734 円			
	3) 令和5年度末残高 3,566,914,800 円			
城翔第三寮の整備	整備場所	鳥取市湯所町 365-2 城翔第三寮 (元 NHK 寮)		
	物件概要	土地 893.68 m ² 、建物 316.38 m ² ×3 階=949.14		
	改修内容	1 修繕工事 ハウスクリーニング、畳表替、壁補修 2 設備・備品 家電購入、二段ベッド設置、電話設備設置、セキュリティ関係、看板設置		
	工事監理者	鳥取市西町一丁目 452-2 有限会社 望月建築設計事務所 取締役 西村 純一		
	工事施工者	鳥取市桂見 573 株式会社 懸樋工務店 代表取締役 懸樋 義樹		
	契約工期	令和6年3月14日～令和6年3月31日		
	全体事業費	108,498 千円		

<p style="text-align: center;">部 活 動</p>	<p style="text-align: center;">運動部</p>	<p>○相撲部（男子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会(令 5. 8. 4) 団体 準優勝 個人 準優勝 ・第72回全国高校相撲十和田大会(令 5. 8. 15) 団体 優勝 個人 第5位 ・第107回 高等学校相撲金沢大会(令 5. 5. 21) 団体3位 ・第64回全国高校相撲宇佐大会(令 5. 9. 3) 団体 優勝 個人 第3位 ・2023 世界ジュニア相撲選手権大会(令 5. 10. 7) 個人 中量級 優勝 無差別級 準優勝 <p>○相撲部（女子）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第11回国際女子相撲選抜堺大会(令 5. 4. 9) 一般 団体 第3位 一般 個人 超軽量級 第3位 重量級 ベスト8 ・第9回全国女子相撲ひめじ大会(令 5. 6. 18) 個人 中学校の部 軽量級 準優勝 ・第14回 全日本女子相撲岐阜大会(令 5. 7. 16) 団体 一般 鳥取城北高等学校A、B ベスト8 個人 一般 超軽量級 第3位 軽量級 ベスト8 ・第28回全日本女子相撲選手権大会(令 5. 10. 1) 団体 一般 鳥取県C 第3位 鳥取県D ベスト8 個人 一般 超軽量級 ベスト8 軽量級 第3位、ベスト8 中量級 ベスト8 軽重量級 準優勝 重量級 第3位 <p>○野球部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第140回春季中国地区高等学校野球大会(令 5. 6. 3) 出場 ・第141回秋季中国地区高等学校野球大会(令 5. 10. 27) 出場 <p>○男女陸上競技部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第76回中国高等学校陸上競技対校選手 男子 4×100m R 優勝 ・第77回中国陸上競技選手権大会兼第108回日本陸上競技選手権 大会中国地区予選会
--	--	--

<p style="text-align: center;">部 活 動</p>	<p style="text-align: center;">運動部</p>	<p style="text-align: center;">男子 4×400m R 優勝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第32回中国高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 男子走高跳 優勝 女子三段跳 第3位 女子 4×100m R 第3位 <p>○男子駅伝部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子第65回中国高等学校駅伝競走大会 第2位 ・男子第74回全国高等学校駅伝競走大会 出場 <p>○女子駅伝部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子第37回中国高等学校駅伝競走大会 出場 ・男子第74回全国高等学校駅伝競走大会 出場 <p>○スキー部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第31回中国高等学校新人スキー大会 個人男子大回転 第2位 <p>○ソフトボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第27回中国高等学校ソフトボール新人大会 第3位 <p>○女子サッカー部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回中国高等学校女子サッカー選手権大会 第3位 <p>○剣道部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度鳥取県高等学校総合体育大会 剣道競技の部 男子団体 優勝 <p>○男子バスケットボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中国高等学校新人バスケットボール大会 優勝 <p>○女子バスケットボール部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第67回中国高等学校バスケットボール選手権大会 準優勝 ・U18日清食品中国ブロックリーグ2023 優勝 ・令和5年度中国高等学校バスケットボール新人大会 優勝 <p>○テニス部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度鳥取県高等学校テニス新人戦団体の部兼第46回全国選抜 高校テニス選手権大会県予選 女子団体 優勝 <p>○ボクシング部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第77回中国高等学校ボクシング選手権大会 ライトフライ級 第2位
--	--	--

<p style="text-align: center;">部 活 動</p>	<p style="text-align: center;">運動部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空手道部 <ul style="list-style-type: none"> ・第37回中国高等学校空手道選抜大会 <ul style="list-style-type: none"> 女子個人組手 -53kg級 第3位 男子個人組手 -55kg級 第3位 <li style="padding-left: 40px;">-68kg級 第3位 女子団体組手 3人制 第3位 ○ボート部 <ul style="list-style-type: none"> ・第67回中国高等学校ボート選手権大会 <ul style="list-style-type: none"> 女子シングルスカル 第2位 男子ダブルスカル 第1位 男子舵手付きクォドルプル 第2位 ・特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体） <ul style="list-style-type: none"> 男子男子舵手付きクォドルプル 第4位 ・第35回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会 <ul style="list-style-type: none"> 男子舵手付きクォドルプル 第3位 ○クライミング部 <ul style="list-style-type: none"> ・第11回リードユース日本選手権南砺大会 第8位 ・令和5年度国民体育大会中国ブロック大会 第2位 ・令和5年度国民体育大会 少年男子リード7位 ・第14回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会 第7位 ・にしけいカップ九州スポーツクライミングコンペティション2023 第2位 ・IFSCクライミング7-ルドカップソウル2023(ソウル) 第28位 ・Tottori SpeedCup2023 第1位 ・IFSCクライミングワールドカップジャカルタ2023（インドネシアジャカルタ） 第28位 ・IFSCクライミング7-ルドカップソルトレイクシティ2023（アメリカ，ソルトレイクシティ） 第25位 ・SCJT2023 第4位 ・IFSCクライミングワールドカップヴィラール2023（スイスヴィラール） 第33位 ・IFSCクライミングワールドカップシャモニー 2023(フランスシャモニー) 第26位 ・IFSCクライミングワールドカップ呉江2023（中国・呉江） 第23位 ・IFSCクライミング世界選手権ベルン2023(ベルン) 第30位 ・IFSCクライミングユース世界選手権ソウル2023（韓国・ソウル） 第5位 ・IFSCアジアユース選手権（中国・重慶） 第2位 ・第1回神奈川スピードクライミング競技会 第1位 ○ダンス部 <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会 中四国予選
--	---

部 活 動	運動部	<p>Small 男女混成 第2位 large 女子 第1位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校ダンスドリル選手権大会 Small 男女混成部門 第3位 ・令和5年度ダンスドリル秋季競技大会 中国・四国大会 HIPHOP 男女混成 Small 編成 第4位 HIPHOP 女子 Small 編成 第3位 ・第15回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 HIPHOP 男女混成 small 部門 第2位 <p>○馬術部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別国民体育大会中国ブロック大会 少年トップスコア競技 第2位 少年スピードアンドハンディネス競技 第4位 ・特別国民体育大会 少年トップスコア競技 第5位 ・岡山グンランプリジャンピングホースショー2023チャンピオンシップ大会 中障害飛越競技 D-II 第3位 ・岡山グンランプリジャンピングホースショー2023スプリング大会 中障害飛越競技 D-I 第8位 中障害飛越競技 D-II 第4位
	文化部	<p>○書道部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会） 優勝・文部科学大臣賞（4大会連続5回目の出場） ・第3回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ 第4位 ・第17回全国高校生大作書道展 大作大賞（全国第2位） ・第32回国際高校生選抜書展 団体：中国地区準優勝 個人：秀作賞2名 入選13名 ※創部以来初となる全員入選 <p>○新聞部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第27回全国高校新聞年間紙面審査賞 優良賞（3位相当） （優良賞の受賞は3年連続 7回目） <p>○美術部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第24回高校生国際美術展 秀作賞

(2) 認定こども園鳥取幼稚園

私学の幼児教育 69年の伝統を基に、人格の基礎を形成する重要な時期であり、

感動する心、豊かな感性をもち、自立心を育て思いやりの心を育む教育活動を展開し、負託に応える園づくりに努めた。

また、平成30年度には、全園が認定こども園に移行したことにより、各園が一層連携を深めて園児確保に努めているところであるが、少子化等の影響もあり、園児数の減少傾向が続いている。

第三幼稚園については、令和3年度に全面改築事業に着工、令和4年度に完成し、令和5年度から幼保連携型として再スタートした。

また、第一幼稚園は、令和6年度・7年度の2年間をかけて、園舎全面改築事業の着工を予定しており、令和8年度に幼保連携型への移行を目指す。

主な項目	概 要				
学級編成		園児数		5.5.1	(参考 令和6.4.1)
	認定こども園 鳥取第一幼稚園	定員 150	7CL	130人	定員 150 5CL 101人
	認定こども園 鳥取第二幼稚園	270	13CL	261人	270 12CL 248人
	認定こども園 鳥取第三幼稚園	125	6CL	116人	125 6CL 118人
	認定こども園 鳥取第四幼稚園	250	11CL	236人	250 11CL 229人
	認定こども園 鳥取第五幼稚園	75	4CL	49人	65 4CL 56人
	合 計	850	41CL	792人	870 38CL 752人
教職員数 4.5.1 (令和5.4.1)	区 分	教 員	職 員	計	合 計
	常 勤	86 (86)	14 (13)	100 (99)	176 (177)
	非常勤	61 (62)	15 (16)	76 (78)	
園児募集	地域密着生活情報誌「つばさ」年2回掲載(6月号5/22発行・10月号9/25発行)996千円、鳥取幼稚園共通HPリニューアル 241千円 経費 1,237千円				
教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園：平日 午前10時～午後2時(水曜日 午前10時～午後1時) ・認定こども園:平日 午前7時30分～午後7時・土曜日 午前7時30分～午後6時 ・預かり保育利用:延1,337人 				
各種教室	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽教室(ピアノ、リトミック 担当:園音楽教員) 延3,507人 ・体育教室(ボール、器具遊び、プール) 延123回 ・英語教室(歌、ゲーム等による興味つけ) 延170レッスン ・サッカー教室(ボール遊び、ミニゲーム等) 延45回実施 				
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・第一幼稚園 園舎改築実施設計業務委託(委託業者:有望月建築設計事務所) 期間:5.4/4-12/28 委託料 10,824千円 園舎改築地質調査業務委託(委託業者:有望月建築設計事務所) 期間:5.6/12-7/31 委託料 2,310千円 ・第一幼稚園 防犯カメラシステム一式(施工業者:株セコム) 工期5.10/3 工事費 418千円 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・一園 日進小学校区幼保小交流会、日進地区公民館祭作品出展、永楽温泉町七夕かざり参加 ・二園 醇風小・城北小交流会、醇風地区幼保連絡協議会・交流会 				

<p>地 域・園行事等</p>	<p>地区夜桜道路ぼんぼり展示参加、醇風地区公民館祭作品出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三園 中ノ郷中校区幼保小中連絡協議会、浜坂地区保幼小交流会 らっきょう堀り体験、浜坂地区公民館祭作品出展 ・四園 美保南小地区幼保小連絡協議会・交流会、美保南地区子育てサークル参加 美保南地区公民館祭作品出展、ガイナール・サッカー協会との交流 ・五園 末恒地区幼保小連絡協議会・交流会、末恒地区公民館祭作品出展 末恒地区の方との交流会 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園を活用した子育て支援 計 43 回（親子体育教室一・二・四園で実施） <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・各園再資源化の取り組み（継続）
<p>給 食</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児：鳥取幼稚園給食センター委託 152,621 食 ・乳児：(株) レパスト 委託 51,693 食
<p>学校評価</p>	<p>○各園の総合評価 ☆教育目標</p> <p>第一幼稚園 ○A (A) ☆豊かな心を持ち生き生きと遊ぶ子ども</p> <p>第二幼稚園 ○A (A) ☆生きる力があふれる子ども</p> <p>第三幼稚園 ○A (A) ☆豊かな感性をもち主体的に活動する子ども</p> <p>第四幼稚園 ○A (A) ☆ゆたかで やさしく たくましいこども</p> <p>第五幼稚園 ○A (A) ☆明るく たくましく 心豊かな子ども</p> <p><A 十分達成 B 達成 C 取り組みが十分でない D 不十分> () は令和 4 年度評価</p>

(3) 鳥取城北日本語学校

- ・平成 31 年 4 月 1 日鳥取城北日本語学校を開校。第 1 期生として、ベトナムから 17 名の留学生を受け入れた。(令和 2 年 3 月 13 日 卒業式)
- ・令和 2 年度留学生(第 2 期生)として、ベトナムから 55 名の留学生を受け入れた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国の水際対策により、留学生の入国が大幅に遅れたため、卒業時期を 3 か月延長した。
(令和 2 年 11 月 26 日 入学式、令和 3 年 6 月 26 日 卒業式)
- ・令和 3 年度留学生(第 3 期生)として、ベトナムから新規留学生 26 名、再入学生 1 名(2 期生)の計 27 名を受け入れた。令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大による国の水際対策により、全ての国からの新規入国が認められない状況が長期間続いた。このため、新規留学生 26 名については、年度当初からオンライン授業に取り組んだ。入国時期は、約 1 年遅れて令和 4 年 3 月末となったことから、日本での対面授業による修業期間を確保するため、卒業時期を 6 か月延長し、令和 4 年 9 月 とした。
- ・令和 2 年 11 月 13 日 広島出入国在留管理局から「適正校」として選定する旨の通知。以降、毎年度、適正校として選定されている。
- ・令和 4 年度留学生(第 4 期生)は、28 名を受け入れ、モンゴルから初めて受入れた。
- ・令和 5 年 3 月 7 日 留学生が、在留資格「特定技能」を取得して就職した後も、受入企業をサポートできるように、広島出入国在留管理局へ「特定技能登録支援機関」の登録申請を行った。(令和 5 年 5 月 12 日 許可)

- ・令和5年度留学生（第5期生）は、7名が入学した。マレーシアから初めて受入れた。
（令和5年4月14日 入学式、令和6年3月13日 卒業式）
- ・令和6年度は新型コロナウイルスの影響も緩和されたことから、第6期生として52名が入学した。（令和6年4月12日 入学式）

課程	コース名	修業年限	収容定員	クラス数
日本語学科	一般コース	1年	100名	5クラス
教職員数 令和5.4.1 (令和6.4.1)	区 分	教 員	職 員	合 計
	常 勤	5 (6)	2 (2)	7 (8)

学 校 評 価	教 育 目 標	日本での生活を通じて、母国の誇りを持って日本の社会で就業及び生活できる人材の育成を目指す。				
	各 項 目 評 価	教育理念	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
		3 (3)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	3 (3)
		教育環境	学生募集	財 務	法令順守	社会貢献
		3 (3)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	2 (2)
<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切> ()は令和4年度評価						

留學生の受入状況（期別）

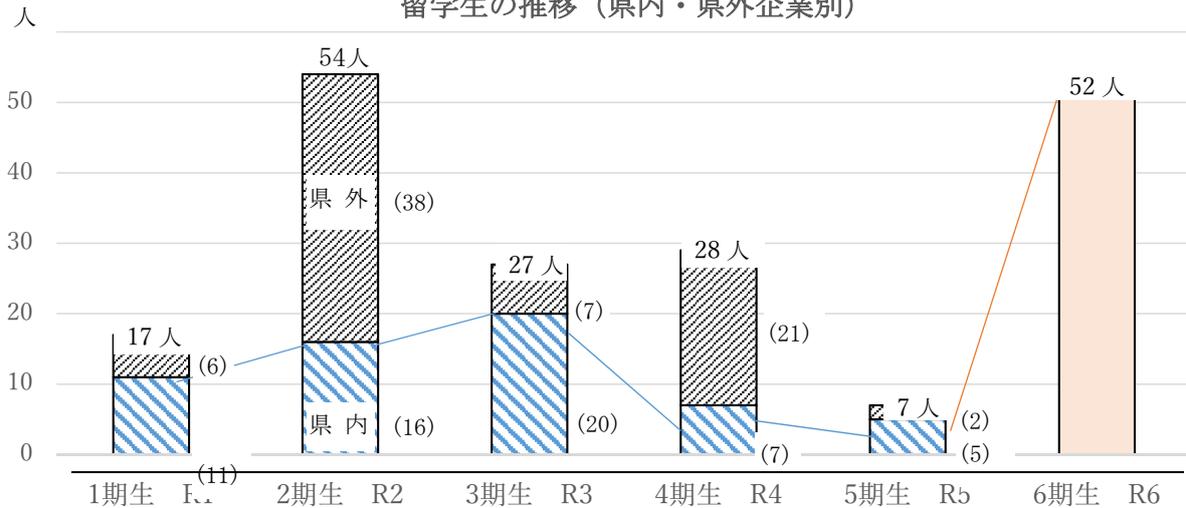
令和6年4月1日現在

	区 分	企業数	学生数	男	女
1 期 生 (R元)	県内企業	8社	11人	5人	6人
	県外企業	5社	6人	3人	3人
	計	13社	17人	8人	9人
2 期 生 (R2)	県内企業	13社	16人	11人	5人
	県外企業	21社	38人	29人	9人
	計	34社	54人	40人	14人
3 期 生 (R3)	県内企業	10社	20人	12人	8人
	県外企業	4社	7人	5人	2人
	計	14社	27人	17人	10人
4 期 生 (R4)	県内企業	5社	7人	4人	3人
	県外企業	8社	21人	13人	8人
	計	13社	28人	17人	11人
5 期 生 (R5)	県内企業	1社	5人	1人	4人
	県外企業	2社	2人	2人	0人
	計	3社	7人	3人	4人
合 計	県内企業	30社	58人	32人	26人
	県外企業	34社	74人	52人	22人
	計	64社	133人	85人	48人

6期生		52人	18人	34人
-----	--	-----	-----	-----

*合計（企業数、学生数）は、各期の延数ではなく、実数である。

留学生の推移（県内・県外企業別）



（４）事 務 局

法人業務を総括し、理事会・評議員会の開催事務や県の検査等に対応した。

（高校事務室との統合について）

職員数	区 分	職 員	合 計
令和 3. 5. 1 (令和 4.4.1)	常 勤	11 (11)	13 (13)
	非常勤	2 (2)	

主な項目	概 要
公認会計士 委嘱	池原 浩一（会計監査） 契約（年度毎） 平成 30 年 6 月 1 日 経費 1,540 千円
法律顧問契約	弁護士 駒井 重忠 契約 平成 25 年 9 月 26 日（期間継続） 経費 660 千円
社会保険労務士 顧問契約	特定社会保険労務士 山下 靖夫 契約 平成 28 年 9 月 30 日（期間継続） 経費 264 千円
規則制定・改正 状況	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園鳥取第三幼稚園園則の全部改正(R5.4.1 付) 組織運営に関する規則の一部改正(R5.4.1 付) 役員の報酬等に関する規程の一部改正(R5.5.1 付) 認定こども園鳥取第一幼稚園園則の一部改正(所在地変更： 609 番地→620-1 番地) (R5.12.1 付)
監査受検状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度 私立学校教育振興補助金等に係る実地調査 鳥取城北高等学校 令和 5 年 4 月 20 日 令和 4 年度 私立幼稚園運営費補助金等に係る実地調査 (調査対象…私立幼稚園等特別支援教育研究推進事業費補助金) 鳥取第三幼稚園、鳥取第四幼稚園 令和 5 年 4 月 20 日 令和 4 年度 決算監査 令和 5 年 4 月 21 日、5 月 25 日（令和 4 年度決算に係る公 認会計士と学園監事との合同監査） 令和 4 年度 決算に係る公認会計士期末監査 令和 5 年 5 月 2、11、15、16、22、24、25 日 <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年度 鳥取県私立幼稚園運営状況調査 (対象 幼稚園型認定こども園)

	<p>書面監査 令和5年8月 鳥取第一幼稚園</p> <p>実地調査 令和5年11月8日 鳥取第五幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> • 令和5年度 児童福祉施設指導監査 (対象 幼保連携型認定こども園) <p>実地監査 令和5年9月21日 鳥取第二幼稚園 令和5年11月27日 鳥取第四幼稚園 令和5年12月11日 鳥取第三幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> • 令和54年度 公認会計士期中監査 令和5年11月10日 令和5年12月1、4日 令和6年2月19、26日、3月7、8日 令和6年4月8日 • 令和5年度「学校法人調査」(令和4年度事業対象) 令和5年11月1日
--	---

3 経営状況

(1) 鳥取学園経営理念

学校法人鳥取学園は、建学の精神に則り、教育を通じて社会に貢献することを経営の柱とする。園児・生徒・学生・保護者・卒業生及び教職員は一体となり、将来にわたって地域社会とともに歩んでいくことを期し、次の点を重視し、強固な経営基盤の確立を図る。

- ・園児、生徒、学生を人として重んじ、それぞれの発達段階に応じた教育を通じて社会の負託に応える。
- ・経営における社会的責任を自覚し、透明性のある経営に努める。
- ・教職員間で将来ビジョン(中期計画等)を共有し、教職員の資質の向上と生活の安定に努める。

(2) 鳥取学園経営方針

- ・収支バランスに配慮しながら、持続可能な経営を行う。
- ・投資にあたっては費用対効果を十分に検証するとともに、確実な投資資金の返済計画を立てて実践する。
- ・特に、高校校舎改築及び幼稚園園舎改築借入金の計画的かつ円滑な返済と日本語学校の早期経営安定に留意する。

(3) 経営状況の概要

次年度繰越支払資金は前年度217百万円の減から今年度29百万円の増へと転じた。

主な要因は、前期末未収入金収入の増加、前期末未払金支払支出の減少などであり、年度で大幅に変動する傾向である。

高校校舎改築資金は多額の借入金を返済しており、今後の長期間にわたる借入金の返済に備え、支払資金の確保は極めて重要な課題である。

また、今期より第三幼稚園園舎改築借入金の本格返済が開始し、第一幼稚園園舎改築事業も開始した。

今後少子化の加速が見込まれる中で、借入金の円滑な返済が可能になるよう、鳥取幼稚園の運営のあり方について更なる検討が必要である。

日本語学校においては、特定技能や介護分野の受け入れの継続など、昨年度に続き留学生の積極的募集活動により、学校の運営を早急に軌道に乗せ、学園経営に支障をきたすことのないように努める必要がある。

これらの各種課題に対応するために、引き続き経費の削減と学生、生徒、園児の確保による収入の増加を図り、経営の安定に努めなければならない。

(4) 資金収支の推移

※ 資金収支は当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容（改築工事に係る収支を含む）と支払資金の収入と支出のてんまつを明らかにするもの

(単位:百万円)

年度	元	2	3	4	5
収入 (A)	3,404	5,946	4,742	3,909	3,755
城北高校	1,733	4,124	2,466	1,641	1,768
幼稚園・認定こども園	871	965	1,378	1,334	925
城北日本語学校	45	51	39	46	20
事務局	0	0	7	1	3
前受金収入・その他の収入	975	1,070	1,059	1,126	1,173
資金収入調整勘定	▲ 220	▲ 264	▲ 208	▲ 240	▲ 134
支出 (B)	3,319	5,959	4,628	4,126	3,725
城北高校	1,648	3,991	2,401	1,472	1,713
幼稚園・認定こども園	869	978	1,395	1,445	1,008
城北日本語学校	61	69	60	61	56
事務局	13	13	24	13	24
資産運用支出・その他の支出	918	1,001	905	1,221	1,049
資金支出調整勘定	▲ 190	▲ 93	▲ 157	▲ 86	▲ 126
収支差額 (A-B)	85	▲ 13	114	▲ 217	29
城北高校	85	133	65	169	54
幼稚園・認定こども園	2	▲ 13	▲ 17	▲ 111	▲ 83
城北日本語学校	▲ 16	▲ 18	▲ 21	▲ 15	▲ 36
事務局	▲ 13	▲ 13	▲ 16	▲ 12	▲ 21
その他の収支差額	57	69	154	▲ 95	124
調整勘定収支差額	▲ 29	▲ 171	▲ 51	▲ 153	▲ 9
次年度繰越支払資金	750	737	851	634	663

(注) 百万円以下四捨五入で表示をしているため合計数値が合わないことがある。

令和5年度の収支差額(A-B)は+29百万円と黒字に転じた。これは前期末未収入金入金金が30百万円増加し、前期末未払金支払支出が55百万円減となったこと等によるものである。

令和6年度から本格的に第一幼稚園園舎改築事業が開始され、中高一貫校設置も予定している。将来に備えて、安定的な資金確保が不可欠である。

(5) 事業活動収支（消費収支）の推移

※ 事業活動収支（消費収支）では教育活動に必要な資産の取得に係るものを除き（ただし施設整備費補助金を含む）、経常的な収支バランスを明らかにするもの

ア 学園全体の科目別収入及び施設別収入の推移

(単位:百万円)

年度		元	2	3	4	5
学生生徒納付金		675	693	689	755	714
手数料		18	17	18	16	16
寄付金		26	14	4	7	6
補助金		1,151	1,231	1,403	1,364	1,345
運用収入		0	0	0	0	0
事業収入		148	156	171	165	164
雑収入		114	45	53	39	35
合計		2,132	2,156	2,338	2,346	2,279
施設別	城北高校	1,230	1,223	1,270	1,340	1,343
	幼稚園・認定こども園	858	880	1,030	958	913
	城北日本語学校	44	51	39	46	20
	事務局	0	2	0	1	1

イ 学園全体の科目別支出及び施設別支出の推移

(単位:百万円)

年度		元	2	3	4	5
人件費		1,370	1,371	1,385	1,449	1,508
経費		677	761	893	873	910
借入金等利息		27	32	38	38	38
資産処分差額		3	2	59	50	1
徴収不能引当金		0	0	0	1	1
合計		2,077	2,166	2,375	2,410	2,458
施設別	城北高校	1,135	1,168	1,383	1,294	1,356
	幼稚園・認定こども園	867	913	918	1,039	1,024
	城北日本語学校	62	71	63	64	58
	事務局	13	14	11	14	20

ウ 施設別の収支差額の推移

(単位:百万円)

収支差額 (アイ)		元	2	3	4	5
収支差額 (アイ)		55	▲ 10	▲ 37	▲ 65	▲ 179
施設別	城北高校	95	55	▲ 113	47	▲ 13
	幼稚園・認定こども園	▲ 9	▲ 33	111	▲ 81	▲ 110
	城北日本語学校	▲ 18	▲ 20	▲ 24	▲ 17	▲ 38
	事務局	▲ 13	▲ 12	▲ 11	▲ 13	▲ 18

エ 令和5年度事業活動収支内訳

(単位:百万円)

内訳		城北高校	認定こども園	日本語学校	事務局	法人計
教育活動収支						
収入	R 4	1,320	845	46	0	2,211
	R 5	1,320	908	20	1	2,250
支出	R 4	1,252	994	63	13	2,323
	R 5	1,323	1,019	58	19	2,420
収支差額	R 4	68	▲ 149	▲ 17	▲ 13	▲ 112
	R 5	▲ 3	▲ 111	▲ 38	▲ 18	▲ 170
教育活動外収支						
収入	R 4	0	0	0	0	0
	R 5	0	0	0	2	2
支出	R 4	33	5	0	0	38
	R 5	32	4	0	2	38
収支差額	R 4	▲ 33	▲ 4	0	0	▲ 38
	R 5	▲ 32	▲ 4	0	0	▲ 36
特別収支						
収入	R 4	21	114	0	0	135
	R 5	23	5	0	0	28
支出	R 4	9	41	0	0	50
	R 5	0	0	0	0	1
収支差額	R 4	13	73	0	0	85
	R 5	22	5	0	0	27
基本金組入前	R 4	47	▲ 81	▲ 17	▲ 13	▲ 65
当年度収支差額	R 5	▲ 13	▲ 110	▲ 38	▲ 18	▲ 179
基本金組入額合計	R 4	▲ 28	▲ 93	▲ 2	▲ 1	▲ 124
	R 5	▲ 138	▲ 54	▲ 2	▲ 1	▲ 195
当年度収支差額	R 4	19	▲ 174	▲ 19	▲ 14	▲ 187
	R 5	▲ 151	▲ 164	▲ 40	▲ 19	▲ 373

→ウ表の網掛部分と一致

(注)百万円以下四捨五入で表示をしているため合計数値が合わないことがある。

教育活動収支差額 城北高校▲3百万円、幼稚園▲111百万円、日本語学校▲38百万円である。

城北高校は収入に大きな増減はないが、城翔第三寮整備により経費が増加した。

幼稚園や日本語学校においては、園児数、学生数減の影響が大きい。

特別活動外収支は校舎建設等にかかる借入金利息の支払である。

特別収支は、主に利子補助金収入である。

※ 基本金組入額

教育活動に必要な土地・建物、運転資金等を永続的な教育活動を担保するために計上するもので、観念的な簿記上の取引。

基本金を組み入れた上でこの収支がバランス（0以上）していれば、将来の固定資産取得時に取得資金が残っていることになる。

※ 第1号基本金 「現有の固定資産の金額」の財源的裏付けとなるもの

第4号基本金 「運転資金の金額」の財源的裏付けとなるもの